

小金井市ごみ受け入れのその後

昨年11月に開催された西多摩衛生組合議会において、組合側より「小金井市からのごみ受け入れ量は当初年間1万トンと予定したが、19年度末までで7千トン程度になり、受け入れによる受託金は3億3,600万円になると予測している。また、新焼却施設については、二枚橋衛生組合跡地と蛇の目ミシン跡地の2カ所を候補に現在、検討中。」との報告がありました。

なお、小金井市議会は、広域支援受託先の住民から、多くの陳情書が提出されたことを重く受けとめ12月議会最終日に「広域支援の早期解消に努める決議」を採択しました。



後期高齢者医療広域連合議会に



本年4月から後期高齢者医療制度がスタートいたします。瑞穂町は東京都後期高齢者医療広域連合に所属し、運営やサービス内容のチェックは、区市町村から代表された31名の議員が行います。なお、連合議会に割り当てられた町村からの代表議員定数は2名ですが、昨年12月に瑞穂町の尾作議長が町村代表議員の一人として選任されました。

議会に寄せられた声

議会だより編集委員会では、皆様から声をお待ちしています。ご意見・ご感想など、お気軽にお寄せください。連絡先は次のとおりです。

議会事務局直通

TEL : 042-557-7693
FAX : 042-557-4433
Eメール : gikai@town.mizuho.tokyo.jp

議事を傍聴して初めて議会や常任委員会を傍聴いたしました。傍聴して、町長はじめ、町当局者の考え方や担当職員が一生懸命働いている様子が見受けられました。とりわけ、議員については、地元議員の動向や他の議員の考え方など参考になりました。

議員報酬が私たちの税で賄われていることを思うと、私たち住民は、傍聴などの機会を通じ、その活動を見守る必要があると思いました。

(60代男性)

今議事を傍聴された町民の方から感想をお寄せいただきましたので、一部で紹介いたします。

交通環境対策特別委員会

10月16日～17日



宮崎県 清武町
宮崎市

◎島 英之 ○谷 四男美 竹嶋久雄
森 巨 小池信一郎 小野芳久
小川龍美 高水 永雄 石川 修

渋滞対策に町・国・警察一体での取り組み

清武町は国道の慢性渋滞対策として、国の制度(TDM)を活用し、町・国・警察一体となった取り組みを実施した。きっかけは、子どもたちの安全を確保したいという一職員の発意であったとのことである。国や警察との交渉は容易ではなかったが「責任は持つからやってみなさい。」という町長の言葉が、担当職員の支えとなったことである。

なお、翌日には宮崎市のバリアフリー道路の視察も行った。

TDM
公共交通を利用しやすい環境整備や道路を有効利用することで、交通の流れを円滑にする手法



宮崎市のバリアフリー道路

中学生議員の提言で具現化も

長野県 原 村
信州新町

原村の中学生議会は生徒からの一般質問に議員が答弁する形式で行われている。学校の行事や通学路の安全などの身近な問題から、IT、環境問題など、中学生議員から幅広い視点で質問が行われ、中には具現化した提案もあるとのことである。視察に参加した多くの議員から、わが町でも実行する必要があるとの意見が持ち上がった。

なお、翌日にはケーブルテレビで議会中継するなど、開かれた議会に注目されている信州新町を視察した。いずれの議会も、今回わが町で設置された議会活性化特別委員会に大いに参考になるものであった。



原村で開催された中学生議会

11月6日～7日



議会運営委員会

◎竹嶋 久雄 ○青山 晋
近藤 浩 森 巨
小池 信一郎 小野 芳久

議会だより編集委員会

◎小川 龍美 ○齋藤 成宏
森 巨 大坪 国広
高水 永雄 下野 義子

議会運営委員会・議会だより編集委員会